

女性の職域拡大と足踏状態だった時間外労働の削減に着手

一般的に男性社会のイメージが強い日本酒業界にあって、営業を皮切りに醸造現場にも積極的に女性を登用。女性の活躍の場を広げるとともに、育児との両立に関しては、法律を上回る支援制度を整えたことで、女性社員は高い定着率を維持している。また、労使のワーキングチームが中心となって、これまでこう着状態だった時間外労働の削減にも成功した。

白鶴酒造株式会社

取組の目的

白鶴酒造で働くすべての人たちのために、やりがいのある多様な働き方のできる職場づくりを目指し、労働環境の改善に取り組んでいる。

労働時間削減の取組

- 1人当たり月平均6時間程度から減少しなかった時間外労働の削減に着手。時間外労働が発生するのは主に多品種少量生産に対応するボトリングの作業。まず、ここにメスを入れるべく、生産ラインの省人化を機に、ラインの稼動スケジュールを見直した。
- その後、稼動スケジュールに対応した16パターンのシフト勤務制を導入。早朝・深夜勤務者については、今まで禁止されていたマイカー通勤を認めるなど柔軟に対応した。その結果、無駄のない人員配置を実現し、時間外労働は月平均4時間程度にまで減少した。

	始業～終業	休憩時間
①	6:00～14:40 ～	① 11:30～12:30 ～
⑯	13:50～22:30	⑯ 17:00～18:00

16パターンでのシフト例

労使協議の取組

- 賃金体系の変更を契機に、2013年より経営側と労働組合の双方が参加するワーキングチームを結成。時間外労働の削減といったワーク・ライフ・バランスの舵取りを行うとともに、年間のテーマを決めて労働環境改善のためのルールづくりを行っている。
- 現在のテーマは、取得率50%台で推移している年次有給休暇の取得率の向上。対応策として、前年度の年次有給取得率が低い社員を対象に、計画的付与を実施した。同時に、積極的な取得呼びかけにより、社員の意識改革も行っている。

女性の活躍推進、育児・介護等と仕事の両立への取組

- 酒造業界でいち早く醸造現場に女性を配置し、現在は6名が男性と同じく宿直も担当。実際の配置までには、事前にヒアリングを行うなど準備に時間をかけて対策を講じた（女性専用の宿直室とシャワールームの新設、ドアの軽量化等）。営業職ではすでに6名の管理職が誕生している。
- 短時間勤務制度は、子どもが満3歳になるまでの当初の利用期間を、2016年4月から小学3年生になるまでに拡充。また、子育て中の女性社員は、通常の交替勤務から8:30～17:10の定時勤務への変更も可能とした。
- 2006年から、出産や介護により離職した人の再雇用制度を採用した。現在までの再雇用者はのべ3名である。



営業や品質チェックの現場でも活躍

今後の取組

- テレワークの導入を検討。女性活躍推進の取組みなど、多様な働き方の実現を目指していく。

会社プロフィール

設立	1927年（昭和2年）
所在地	神戸市東灘区住吉南町4-5-5
事業内容	清酒、その他酒類の製造、販売および媒介
労働者数	434人（2017年4月1日現在）
HP	http://www.hakutsuru.co.jp/

多様な働き方のある職場づくり

育児や介護で退職しない制度・環境づくりはもちろん、障がい者の職場実習の受け入れや障がい者の雇用にも積極的に取り組んでいる。本社の緑化管理は、障がい者4名がチームを組んで対応。その他、近隣中学校から受け入れた生徒の体験学習、社員の子どもの参観日等で、清酒の知識、醸造の仕事を参加者にわかりやすく伝えている。

